

「がんと 生殖医療」

悪性腫瘍や自己免疫疾患などに対する化学療法や放射線療法により、精巣や卵巣の機能が低下すると、子どもを持つことが困難になる場合があります。将来の妊娠に備えて、治療の開始前に精子や卵子、あるいは、卵巣組織を凍結保存しておくことで、妊孕性を温存することが可能になります。

岡山県でも、このような取り組みが行われていることを多くの方に知っていただくために講演会を企画しました。

日時: 2016年3月13日(日)

13:00 - 15:50

会場: 岡山大学鹿田キャンパス
医学部保健学科棟3階 301大講義室

参加費 無料
駐車券あり

お気軽にご参加ください。

岡山における「がんと生殖医療」の動向

岡山大学大学院保健学研究科・岡山大学病院 産婦人科
岡山大学生殖補助医療技術教育研究(ART)センター 中塚幹也

精子凍結保存の現状と課題

岡山二人クリニック 羽原俊宏

岡山大学生殖補助医療技術教育研究(ART)センター

胚・卵子・卵巣凍結の現状と課題

岡山大学病院 産婦人科 鎌田泰彦

体外卵胞発育(IVG)の現状と可能性 高山 修
ヒト卵巣組織のガラス化保存技術 本橋秀之

がん化学療法と妊孕性～看護師の立場から～

岡山赤十字病院 がん化学療法認定看護師 岡本みどり

乳がんの治療・予後と生殖機能への影響

岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 乳がん治療・再建センター 枝園忠彦

乳がん患者に対する妊孕性保持支援の取り組み

岡山大学病院 乳がん看護認定看護師 露無祐子

がんと生殖医療のネットワーク 岐阜モデルの現状

岐阜大学大学院医学系研究科 産科婦人科学 古井辰郎

総合討論
(20分)

岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Phone & Fax:086-235-6538

E-mail:josan@cc.okayama-u.ac.jp

助産ネットURL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/index>

岡山大学生殖補助医療技術教育研究(ART)センター

生殖医療サポーターの会OKAYAMA

岡山県不妊専門相談センター「不妊・不育ところの相談室」

リプロ
カフェ